

寛永行幸四百年祭・
二年前イベント
誓願寺能楽奉納

能あそび 特別公演 富士太鼓

二〇二六年に、開催予定の「寛永行幸四百年祭」。江戸時代初期、寛永時代には、京都で多くの文化芸能が開かれました。能楽も落語もその一つ。落語の祖とされる安楽庵策伝も寛永時代の人。茶人でもあり、誓願寺の五世法主でした。「寛永行幸四百年祭」の二年前イベントの一環として、寛永文化ゆかりの地である誓願寺にて、能楽奉納とともに、「寛永文化」とその広がりについて語りあいます。お気軽にご参加下さい。

令和六年十月二十日(日)

午後六時半開演(六時開場)／八時終了予定)

浄土宗西山深草派総本山誓願寺(寺町六角)

四千円(椅子による自由席)

お申込み先 有斐斎弘道館

*以下のQRコードよりお申込みいただけます



お話

誓願寺 執事

山本 常阿

×

観世流能楽師

林 宗一郎

×

有斐斎弘道館館長

濱崎加奈子

能 【富士太鼓】

シテ 林 宗一郎

子方 林 小梅

ワキ 江崎欽次郎

アイ 茂山忠三郎

笛 左鴻 泰弘

小鼓 上田 敦史

大鼓 河村凜太郎

後見 味方 團

地謡 河村浩太郎

田茂井廣道

松野 浩行

齊藤 信輔

樹下 千慧

笠田 祐樹

主催 林能楽会
共催 公益財団法人有斐斎弘道館

Living History KYOTO